

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

NO	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和3～5年度)	事業の成果 (令和3年度)	今後の課題・方向性	所管部局		関連事業 (決算事業別概要ページ)
						部局名	課名	
1	○	スポーツ推進委員活動費	本市のスポーツ振興のため、スポーツの実技指導やスポーツイベントのボランティアとして大会運営の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会2回/年 50人</li> <li>県研究大会1回/年 19人</li> <li>中国地区大会1回/年 中止</li> <li>スポーツイベント支援 延べ200人</li> </ul>	各地区で実施されるスポーツイベントへの講師派遣や地域と連携を深めての共同事業の開催等、実施に向けた検討を行う。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	285 下段
2	○	市民総スポーツ運動費	学校の体育施設を一般開放することで、市民がスポーツを行う場を確保するとともに、パラリンピアンを地域に派遣して市民と触れ合う機会を確保し、障がい者スポーツの振興を図る。 また、市内全小中学校の体育施設の予約事務及び鍵管理をシステム化し、利用者の利便性向上を図る。	学校施設の一般開放によるスポーツ振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般開放 59施設(小中学校体育施設)</li> <li>パラリンピアンを地域に派遣</li> <li>派遣 0人</li> <li>市民体育祭及び小学生陸上大会の中止</li> </ul> 市内全小中学校の体育施設の予約事務及び鍵管理をシステム化 <ul style="list-style-type: none"> <li>対象施設：59施設(校庭+体育館)</li> <li>利用団体数730団体</li> </ul>	学校施設開放事業の周知を広げ、多くの市民がスポーツに取り組む環境が提供できるよう制度整備やルール改正に努めていく。またアスリート派遣については新型コロナウイルスの感染状況を踏まえつつ、対応していきたい。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	286 上段
3	○	市民体育祭開催費	本市最大のスポーツ大会「鳥取市民体育祭」を開催することで、生涯スポーツの振興や活力ある地域づくりを推進する。	鳥取市民体育祭の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>競技数 12種目</li> <li>参加地区 40小学校区</li> <li>参加者予定 延べ5,340人</li> </ul>	令和4年度は2年ぶりとなる校区対抗による競技会となる予定。新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、多くの市民にスポーツに関心を持っていただき、スポーツに取り組む機会となる市民体育祭を開催したい。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	286 下段
4	○	スポレク祭開催費	誰もが気軽に参加できるニュースポーツ等を中心として開催され、ライフステージに応じたスポーツ推進を図る。	鳥取市スポーツ・レクリエーション祭の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年9月4日～10月3日</li> <li>計11種目・675人(グラウンド・ゴルフ、ニュースポーツ体験会、ポッチャ、羽根っこゲーム、ラダーゲッター、ダンス、バウンドテニス、ウォーキング、ドッジボール、ゲートボール、ラージボール卓球)</li> <li>※中止：計4種目(ペタンク、バウンスボール、ソフトバレー、ボウリング)</li> </ul>	コロナ禍のため多くの参加は厳しい状況であるが、運動強度が高くない本大会は障がいの有無を問わず若者男女が取り組める競技会となっている。あまり知られていない競技もあるが、広くアピールし多くの参加者を募りたい。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	287 上段
5	○	麒麟のまち交流スポーツ大会事業費	アマチュア団体が開催するスポーツ大会及びイベントに対し支援を行うことで、民間活力を活用した麒麟のまち圏域のスポーツ振興を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第2回麒麟のまちBEACH SOCCER GAMES【1,000千円】</li> <li>令和4年3月26、27日</li> <li>参加：518人</li> <li>●麒麟のまちジュニアバドミントン大会～藤井瑞希カップ【500千円】</li> <li>令和3年12月11日(土)開催</li> <li>参加：約342人</li> </ul>	令和4年度で3年目を迎える補助金となるが、民間主導で進めるスポーツ活動は確実に広まっており、大会を運営するノウハウも民間に備わってきている。補助金制度について周知を進め、より多くの申請者が集まるよう工夫して取り組みたい。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	287 下段
6	○	ガイナレ鳥取力向上事業費	鳥取県唯一のプロサッカーチーム「ガイナレ鳥取」がAxisバードスタジアムで試合する際に各種事業を実施することで、本市の賑わい創出を推進する。	「ガイナレ鳥取」を活かした賑わい創出 <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームゲーム開催時の総合的な交通対策</li> <li>市の情報発信(2回実施)</li> <li>飲食ブースの出店支援(バードスタジアム開催11試合分)</li> </ul>	プロスポーツ観戦はスポーツ機運を上昇させることはもちろん、本市に賑わいをもたらす経済対策の一面を持つ。引き続き多くの誘客に向けた事業に取り組んでいきたい。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	288 上段
7	○	子どものこころづくり支援「夢の教室」事業費	スポーツや文化、芸術の分野で活躍した著名人等を「夢先生」として迎え、小学5年生及び中学2年生を対象に「夢の教室」を開催する。	夢の教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施 21クラス(オンライン授業)</li> </ul>	教職員や児童生徒に大変好評な事業となる。対面授業を行いたいものの新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、現段階では委託先となるJFAもオンライン授業を軸として調整を進めている。著名人と接することは児童生徒についても良い経験となるので、本事業を継続していきたい。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	288 下段
8	○	キャンプ地誘致推進事業費	大規模大会のキャンプ等を誘致し一流選手のパフォーマンスに触れる機会を持つことで、市民のスポーツ機運の醸成と競技力の向上を図る。	東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプの誘致 <ul style="list-style-type: none"> <li>3競技(陸上、サッカー、卓球)</li> </ul>	一流選手のパフォーマンスに触れる機会を提供し、市民のスポーツ熱を喚起し、スポーツ機運の醸成を図る場面は必要である。次年度以降においても鳥取県やスポーツ団体と連携し、キャンプ地誘致や大会誘致に取り組んでいきたい。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	289 上段

NO	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和3～5年度)	事業の成果 (令和3年度)	今後の課題・方向性	所管部局		関連事業 (決算事業別概要ページ)
						部局名	課名	
9	○	市民体育館等再整備事業費	鳥取市民体育館の再整備をPFI方式で令和2年度から着手し、令和5年6月開業を目指して推進するため、再整備事業に係るモニタリングを実施する。	再整備事業に係るモニタリングの実施（2年度目） 年12回開催	受注者が本市が求める要求水準を満たす整備を行っていることを適宜確認し、令和5年6月の開業に向け市民に満足いただけるスポーツ拠点整備を進めていきたい。	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	290 下段
10	○	体育施設スマート予約システム導入事業費（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）	市内全小中学校の体育施設の予約事務及び鍵管理をシステム化し、利用者の利便性向上を図る。	対象施設：59施設（校庭＋体育館） 利用団体数：730団体（＋30団体、＋434人） 令和3年10月以降の実数） 延べ利用者数：442,432人【上期：150,873人、下期：291,559人】	学校施設開放事業の周知を広め、多くの市民がスポーツに取り組む環境が提供できるよう制度整備やルール改正に努めていく	教育委員会	生涯学習・スポーツ課	366 上段